

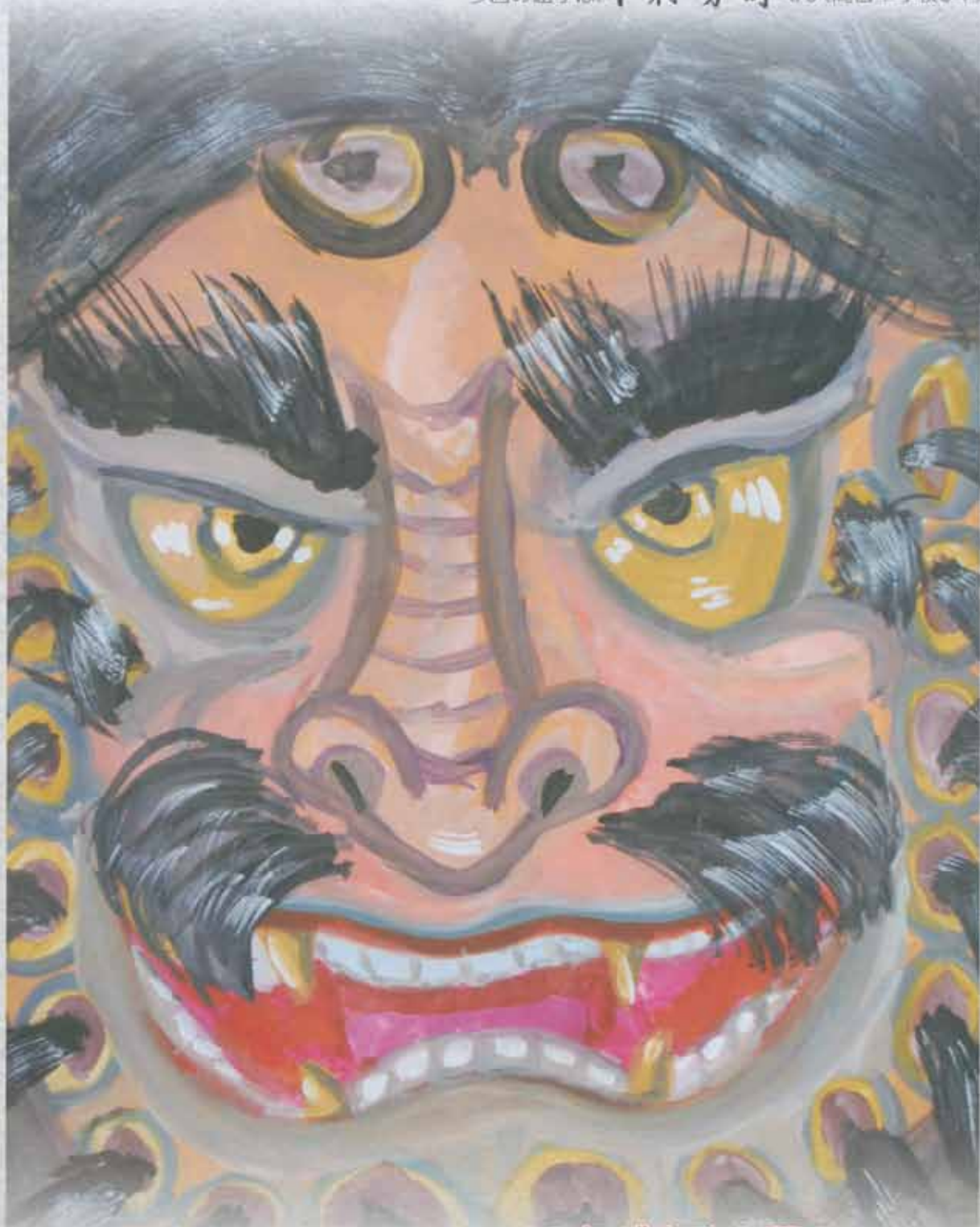
人 輝く・安芸高田



あきたかた

# 議会だより

今回の題字は、<sup>なかむら</sup>中村 <sup>ゆうじ</sup>勇司 くん（高宮中学校3年）です。



表紙の絵は、<sup>まてたか</sup>前川 すみれ さん（小田小学校6年）の作品です。  
平成21年度安芸高田市吉田歴史民俗資料館  
絵画コンクール「文化財を描こう」市議会議員長賞

補正予算	.....3~5	16名が市政を問う	.....10~17
議会改革の取り組み	.....20	地域の かがやき	.....22

第24号

2010(平成22)年2月1日発行

# 22年度予算などを審議します

2月22日から3月18日を会期として22年第1回定例会が開催されます。

22年度予算が市長から提案され、事業計画が適正であるかなど、議会で慎重に審査します。ぜひ傍聴にお越しください。

議会の日程は次のとおりです。

月	日	開会時間	会議名	内容	
2	22(月)	午前10時	本会議	施政方針、一般議案、予算議案等の審議	
	24(水)	午前10時	常任委員会		
	25(木)	午前10時	常任委員会		
	26(金)	午前10時	常任委員会		
3	2(火)	午前10時	本会議	一般質問	
	3(水)	午前10時	本会議		
	4(木)	午前10時	本会議		
	8(月)	午前10時	予算審査特別委員会	付託された22年度予算議案の審査	
	9(火)	午前10時	予算審査特別委員会		
	10(水)	午前10時	予算審査特別委員会		
	12(金)	午前10時	予算審査特別委員会		
	15(月)	午前10時	予算審査特別委員会		
	16(火)	午前10時	予算審査特別委員会		
	18(木)	午前10時	本会議		委員長報告、採決等

日程は変更になる場合があります。詳細は議会事務局(☎42-5621)までお問い合わせください。また、ホームページにも掲載しています。

## 傍聴記

### 「私はいじり屋」

向原町

出木原 紘二さん

平成21年12月10日に行われた、第4回市議会定例会の一部を傍聴した者として、感想を述べさせていただきます。

議員の方は皆、地域の声の代弁者として、地域や市全体の立場から主要な案件を質問されていました。それに対する市長や教育長等の回答者もまた的確な回答で応じられており、改めて安心して市政を託していける方々だとの認識を再確認しました。

また、滞りない質疑応答の進行から、市議会のまとまりがうかがえ、今後の安定した議会の運営が期待できた一方で、議論に若干の物足りなさを感じたのも事実でした。

## 広告を募集しています

あきたかた議会だよりでは、広告掲載を募集しています。要領は、安芸高田市ホームページをご覧ください。

## 議会だより「朗読テープ」の貸し出しを行っています

朗読ボランティア「蜘蛛の糸」(代表 芦田道子さん)のご協力により、議会だより朗読テープの貸し出しを行っています。貸し出し方法等の詳細は議会事務局(☎42-5621)へお問い合わせください。

安芸高田市の一市民としては、より建設的な活発な議論が今後益々行われ、市議会に安芸高田市を牽引していただけることを期待しています。

# 4億1,923万4千円

可  
決

引き続き不況等で税収が更に落ち込む

事業費の整理にともなう収入の減

借金の一部を繰上げ償還

(元金償還 1億9,536万1千円)

補正予算に関しては、一般会計補正予算と11の特別会計補正予算について審議を行いました。一般会計補正予算については、10名の議員が質疑をおこない、また反対討論がありました。

また、後期高齢者医療・介護保険・介護サービス、公共下水道事業・飲料水供給事業の5つの特別会計補正予算について、質疑がありました。

審査の結果、いずれの補正予算についても、原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算  
質疑

衛生費

横田診療所(美土里町)  
備品購入費  
2,205万円

水戸

備品の内容は。

また、これで十分なのか。

重本福祉保健部長

現在の曾根医師は17年間勤務いただきましたが、高齢となられ、22年3月末をもって退任されます。後任には地元出身の51歳の医師が着任される予定で、超音波などの検査機器を揃える予定です。具体的には、後任医師としっかり協議してすすめます。



横田診療所(美土里町)

民生費

生活保護扶助費

3,087万9千円

前重

対応職員の増については。

重本福祉保健部長

20年12月と比べると21年9月は14世帯26人増加しています。ケースワーカーを4月に1名増員して対応しています。

入本

子育て応援特別手当については。

重本福祉保健部長

全額国費対応であり、国が廃止したことで、市としても広報で廃止のお知らせをしました。

総務費

給食センター整備事業費

1,447万円

繰越明許費

2,420万円

山根

整備事業費の追加は。

繰越明許となったのは。

特区申請も遅れているが、23年度供用開始は大丈夫か。

清水総務企画部長

造成地の規模が大きくなったため追加となり、来年度に繰り越しをし、供用開始は23年度の予定です。

穴戸

市税収入の落ち込みの度合いは。

個人市民税は、20年度より5%の落ち込み、法人税については、

山本市民部長

10月末で対前年度55%減17社あまりが減となっています。また、固定資産税については、評価替えにより、評価額が下がっています。

今村

市税収入の来年の見込みは。

市債の償還計画は。

清水総務企画部長

市税収入は横ばいか、国の状況にもよると思われま。

また、市債の償還計画は、23年度ピークをめやすに繰上げ償還するなど、財政健全化計画に沿って償還していきます。

和田

収入が減少するなか、事業仕分けについては。

清水総務企画部長

行財政改革に取り組む中で、5年目となりますが、大綱を基に、実施計画の作成による具体的な事務事業の整理をしています。

農林水産業費

公有財産購入費

(八千代ふるさと農園)

ぶどう成木購入費)

791万8千円

入本

八千代ふるさと農園の状況については。

ぶどう成木何本分か。

金岡産業振興部長

現在破産手続き中ですが、JA広島北部と市で研究・検討していきます。ぶどうの成木240本分です。



給食センター建設予定地(現在は駐車場として利用)



八千代ふるさと農園のぶどう成木



JAが補助事業で整備したそば用コンバイン

**入本**

治山事業費の減額補正は。

**金岡産業振興部長**

県へは10地区の申請をしておりましたが、県の予算の関係で今年度は2地区になりました。

**秋田**

地産地消の推進に要す

る経費のうち生産条件整備事業費の備品購入費

1,270万円が減額されているのは。

**金岡産業振興部長**

JA広島北部を主体とするコンバインなどの共同利用機械整備事業に対する補助金への組み替えによる減額です。

**国庫補助金**

1億8,457万  
9千円の減額

**児玉**

市税や国庫補助金など歳入の組み立て方に問題はなにか。

**山本市民部長**

**清水総務企画部長**

決算状況・景気動向から計算しているが、国の補助金については、事業計

画をあげておこなわれるもので、今回は、国の配分が年度中途で変更したためです。

**今村**

賦課徴収費900万円は。

**山本市民部長**

地方税法改正に伴う税源移譲に対応する住宅ローン控除ソフトの改修費です。

**特別会計補正予算 質疑**

**後期高齢者医療特別会計補正予算**

**入本**

市としての問題点は。

**重本福祉保健部長**

国では、廃止という声もあるが、新制度への移行は混乱がないようにしていくことが望まれます。

**介護保険特別会計補正予算**

**今村**

介護予防サービス2,810万円の減額は。

**重本福祉保健部長**

利用者の介護度の重度化と利用率の低下などが考えられます。

**公共下水道事業特別会計補正予算**

**和田**

事業の進捗状況と完成予定は。また金額は。

**廣政建設部長**

現時点では、26年度完成予定と思われます。また、進捗率は56.7%、残りは23億円のうち12億円です。

総務企画常任委員会

12月定例会で送付された「非核日本宣言」政府要請と核不拡散条約(NPT)2010年再検討会議に提出する国際署名「核兵器のない世界を」への協力の申し入れについて、12月17日に委員会を開催し審査しました。そのほか、所管事務について3件の調査を実施しました。

	委員	副委員長	委員長
藤井 昌之	今村 義照	金行 哲昭	先川 和幸
		大下 正幸	山根 温子
			赤川 三郎

要望

「非核日本宣言」政府要請と核不拡散条約(NPT)2010年再検討会議に提出する国際署名「核兵器のない世界を」への協力の申し入れについて

要望者：原水爆禁止広島県協議会、広島県原爆被害者団体協議会、非核の政府を求める広島の会

趣旨：核兵器廃絶に向けて世界の世論が高まりを見せる中、唯一の被爆国としての日本の動向が注目されている。2010年に開催される核不拡散条約再検討会議に向け「非核日本宣言を政府に要請する意見書」の採択及び送付についての協力の申し入れ

【審査の経過】

審査項目を「非核日本宣言」を求める意見書の取り扱いに絞り、慎重に審査した結果、「提出された文章のまま採択して国へ意見することは難しい」との意見が多数あり、この件は「不採択」としました。

しかし、市は17年度に「平和都市宣言」に取り組みをしていること等から、議会独自の意見書を国の関係機関へ送付することと決しました。

この意見書について、12月18日の本会議で委員会として議案提出し、賛成多数で可決され、12月24日付で国の関係機関へ送付しました。

【所管事務調査】

- 給食センター整備計画の進捗状況について
- 新公共交通システムの運行状況について
- 職員適正規模(360人体制)に向けての事務処理手法について



原爆死没者慰霊碑(美土里町)

12月定例会で付託された請願1件並びに送付のあった陳情1件について、12月16日に委員会を開き慎重に審査し、原案どおり採択しました。

委員	委員長	青原	敏治
副委員長	委員長	穴戸	邦夫
委員	委員	石飛	慶久
委員	委員	児玉	史則
委員	委員	水戸	眞悟
委員	委員	山本	優
委員	委員	塚本	近

## 請 願

### 「障害者が安心して地域で暮らすための 当面の施策を求める請願」

請願者：安芸高田市障害者団体連絡協議会（吉田町入江1133）他5団体

請願の趣旨

- 22年度の障害者福祉施策の拡充と政権交代による諸施策の混乱、停滞なく推進されるよう国に要請することを求める
- 市の障害者福祉施策の充実を求める

## 陳 情

### 「医師・看護・介護職員の人材確保、 地域医療・介護の確立を求める陳情」

陳情者：広島県医療労働組合（広島市南区稲荷町5-5-201）

陳情の趣旨

- 国に対し、医師・看護師・介護職員等が不足している現状を抜本的に解消し、将来にわたり住民誰もが安全で行き届いた医療・看護・介護などを等しく受けられるよう、確保対策の充実強化を講じる意見書の提出を求める

- 請願、陳情とも委員会で採択し、本会議において可決されました。
- それぞれ国の機関に対し、市議会として意見書を提出することとしました。（12月24日付で関係機関へ送付）

## 産業建設常任委員会

12月定例会で付託された議案3件を、12月15日に委員会を開き、慎重に審査した結果、すべて原案のとおり可決しました。

## 付託案件

○土地改良事業計画概要について  
〔下甲立地区〕

○土地改良事業計画概要について  
〔桑田地区〕

○安芸高田市有住宅管理運営基金条例

委員長 秋田 雅朝  
副委員長 前川 正昭  
委員 前重 昌敬  
和田 一雄

入本 和男  
亀岡 等

# 土地改良事業計画概要

〔甲田町下甲立地区〕 総額 3億8,798万円

(農山村漁村活性化プロジェクト支援交付金)

事業内容：区画整理、暗渠排水

工期：平成22年度～平成26年度(5年間)

〔美土里町桑田地区〕 総額 9,086万2千円

(農山村漁村活性化プロジェクト支援交付金)

事業内容：農業用排水施設、暗渠排水、鳥獣害防止施設

工期：平成22年度～平成26年度(5年間)

## 〔甲田町下甲立地区〕

前川 暗渠排水工の耐用年数は。

## 賀越農林水産課長

半永久的ですが、状況によっては目詰まりもあります。

## 前重 費用の関係に

ついては、来年度の予算に計上できると

いうのが確定か。ま

た、工期(22年度～

26年度)が延びた場

合の地元負担金は。

賀志古係長 予算の

確保はできると思っ

ます。また、工事期間

が延びた場合は、全

て地元または市費で

行うことになりま

す。

入本 県河川の今井

谷川と、今回の土地

改良に関しては切り

離せないのでは。

賀志古係長 県へ出

向き今井谷川の堆積

土の除去とその土砂

の有効活用などをお

願っています。

亀岡 地元負担金の

償還年数と金利は。

賀志古係長 借り入

れ時に償還年数は設

定でき、金利は2%

までいかない状況だ

と思います。

〔美土里町桑田地区〕

前重 事業3件で、

負担の基準は。

賀越農林水産課長

3件の事業それぞれ

国、県、市の負担割合

が決まっています。

入本 今後市として

も法人化事業は継続

できるのか。

市長 今後国の動向

を踏まえ、市として

その対策をとるよう

考えます。

和田 暗渠排水管の

被覆材は。

## 賀志古係長

吸水管の周りに碎石を巻きその上に初殻をいれ、その上に表土をまき戻します。



農業用排水施設の施工状況(イメージ)



## 陳 情

### 「公共工事において適正な賃金が現場労働者に支払われるための 公契約条例の制定を求める陳情」

陳情者：広島県建設労働組合執行委員長、広島県建設労働組合高田支部長

請願の趣旨

- 建設業で働く労働者・職人の仕事と生活の改善の第一歩とするため、公契約条例を制定するよう陳情

## 要 望

### 「酪農経営窮状支援緊急対策実行要望書」

要望者：高宮町酪農振興会、甲田協議会、ミルクープルズ、ホワイトフレンド、  
広島県酪農業協同組合

陳情の趣旨

安芸高田市内酪農家経営救済支援対策（8項目）の実行を要望

- ①酪農経営コスト上昇救済支援
- ②生乳生産基盤維持拡大支援
- ③乳用牛防疫対策へのより一層の支援
- ④酪農担い手への支援
- ⑤和牛産地復興のための乳用牛借腹依存リスクの保全支援
- ⑥市内保育所での県内産牛乳の使用支援等の補助施策を措置
- ⑦死亡牛の運搬・処理に対する支援
- ⑧耕畜連携による自給飼料生産確保対策の定着支援

- 陳情については1日のみでの審査では採決が難しい状況であり、引き続いて審査する必要があるため継続審査としました。
- 要望は、採択とし、本要望書を市長に送付することとしました。

# 市政を問う

## 少年自然の家

社会教育専門の  
施設として運営を  
教育長／教育効果を高める



亀岡 等  
(市民クラブ)

**亀岡** 公正な市政推進に、民意を吸収する(意見提出)制度の導入をさりたい。

**市長** 制度の導入については、各部署と協議を図りながら研究を重ねていきます。

**亀岡** 近年、ゴマの需要が高まっている。市の奨励作物として採り入れられたい。  
**市長** JAや関係機関と連携し、栽培技術や販路等の調査を行い検討してまいります。



少年自然の家の最大限の利用を

**亀岡** 少年自然の家は、教育は投資との視点で社会教育専門の施設として運営されたい。  
**教育長** 使用料の適正化を図りながら、教育施設として最大限活用し、教育効果を高めていくべきと考えております。

## 財政

### 立て直しの 取り組みは

市長／健全化計画策定済み



和田 一雄  
(尊和会)

**和田** 赤字財政立て直しの取り組みの経過と是正は。  
**市長** 19年度から10年の期間で財政健全化計画を策定しています。

**和田** 現在の負債総額は。  
**市長** 21年3月末現在で約324億円です。市民一人あたり約100万円の負担です。

**和田** 償還と改善計画は。  
**市長** 16年度以降増加し、21年度は38億4千万円、15年度対比約1億3千万円増加となり、22年度の約38億9千万円を

ピークに減少の見込みです。

**和田** 歳入歳出の均衡は。  
**市長** 19年度まで赤字、20年度は初の黒字で、単年度収支約2億9千万円です。

**和田** 無期決の一般質問の答弁は。  
**市長** 検討・協議の案件で、意見聴取や資料研究には時間を要します。

**和田** 進捗状況と結果は。  
**市長** 担当部署で考え、結論を出すよう指示しています。

**和田** 年度会期中の実践と可能性は。  
**市長** 市長室に来ていただき、質問してもらえれば的確な答弁をします。

# 16名が



**山根 温子**  
(無所属)

## 市民の求める情報の 発信と共有は

情報の共有

市長／結果に至る過程を

**山根** 財政情報など市民の求める情報をわかりやすく発信し、情報を共有することが、市民と行政が一つとなつて、厳しい状況を乗り越える力になるのでは。  
**市長** 結果について



財政情報の発信(三重県松阪市の借金時計)

の情報の開示は、ほとんどなされていると考えますが、結果に至る過程やプロセスについて工夫をしていきます。  
**山根** 男女共同参画の推進について、防災会議など女性委員ゼロの審議会があるが、男女の委員比率を人口比に近づけることは。

**市長** 行政関係の審議会、委員会に女性の登用を含め、構成比率を高めることや固定観念にとらわれない職場環境をつくり、男女共同参画の実現に向け、諸施策を進めたいと思います。

## 政策展開

### 来年度の 予算編成方針は

市長／施策の選択と重点化



**今村 義照**  
(あきの会)

**今村** 職員の知恵で、限られた財源を最大限有効に。

**市長** 高齢化で社会保障費の増加が予想され、厳しい財政状況の中で各部署の予算要求をまとめますが、職員各自の知恵を出し、徹底的な経費見直しを図り、限られた財源の活用で施策の選択、重点化を推進します。

**今村** 浜田市政任期後半に向かい、どの

ように政策展開をされるか、長期総合計画、行財政改革推進計画との関係について問う。定住促進、産業興し、保健介護、市民の教育力に力点をおいて政策展開を図るべきでは。  
**市長** 基本的には市民の協力が一番重要であり、介護、福祉、健康管理に重点化したい。例えば介護にかかる費用を一年間延ばすと3〜4億円の効果がある。行革面からは、組織の中で民間活力を最大限に利用した財政効率の仕組みを進めていきたいと考えています。

甲立古墳(仮称)

後世への継承は

教育長 / まず試掘調査を



突戸 邦夫 (無所属)

**突戸** 甲立古墳(仮称)について、極めて貴重なこの古墳をどのようにして後世に継承するのか。  
**教育長** 来年度から2カ年をかけて試掘調査を実施します。完了後にシンポジウムなどを開催し、市民の皆様のご意見もいただきたいと考えています。24年度から順次整備に取り掛かりたいと考えています。

**突戸** 保育所や幼稚園の今後のあり方について、運営適正化検討委員会の検討内容は。  
**市長** 幼稚園・保育所の一元化のほか、規模や配置の適正化

など、検討していただいています。  
**突戸** 市民のより意欲的なゴミ分別に向け、もつときめ細かい情報提供の工夫を。  
**市長** 今までの広報のあり方の見直しや、出前講座等による有効な啓発活動を進めてまいりたいと思います。



甲立古墳現地説明会(甲田町上甲立)

向原町への建設の取り組みは

市長 / 調査検討委員会設置



先川 和幸 (無所属)

**先川** 向原町への生涯学習センター建設の具体的な事業実施のタイムスケジュールは。  
**市長** 本事業は、新市建設計画の重点事業として位置づけら

れており、合併特例債を活用し、合併後10年間という期間内には整備したいと考えています。  
 22年度には調査費を計上し、調査検討委員会等を設置します。

**先川** 防火水槽について、設置申請してもなかなか着手してもらえないが、その整備状況は。  
**市長** 本市では現在441基の防火水槽

があります。設置申請のあったもので未設置のものが23基あります。現在、年平均5、6基を地域のバランスを考慮のうえ設置しています。  
 1基あたりの費用は、約730万円かかり、今後財政面も考慮し、できるだけ早く着手できるように検討します。

その他の質問  
 ○小規模農家の支援策について



急がれる防火水槽設置



石飛 慶久  
(無所属)

# 輝ら里の有効的な活用を

教育長/社会教育施設として運用

**石飛** リフォームをした少年自然の家「輝ら里」の運営について有効的な活用は。  
**市長** 基本的に経営状況は成り立っていません。三角棟と本



公営住宅地の跡地利用は

**石飛** 教育施設としての管理・理念は譲らず、大人の利用者も増やす独自の政策展開し、公共施設の有効的な活用が必要では。  
**市長** 議員の提案も館と分けて教育委員会でも検討します。  
**教育長** 指定管理への移行は現状では難しいため、社会教育施設として今後も続けたいと考えます。

踏まえ、大人の方にも満足してもらええる施策の展開をします。  
**石飛** 吉田町新町・西土手地区の公営住宅の跡地利用は。  
**市長** 入居者の移転完了後、地元の見識・管理体制等を充分協議し、防災・憩い・遊び場の空間の提供を考え整備したいと考えます。

**水戸** 国県の事業仕分け作業は本市の予算編成にどのような影響があるか。また、本市においても歳出抑制策を講じるにあたり、実施計画の見直しのための事業仕分けが必要と思うか。  
**市長** 地方交付税の見直し、農山村振興関連事業廃止等、国県の動向を充分注視します。また、標準財政規模に見合う予算編成のため、事業仕分けにより23年度予算から反映させます。



水戸 眞悟  
(絆)

## 実施計画

### 事業仕分けで見直しを

市長/23年度以降予算編成に反映

**水戸** 新型インフルエンザ対策は。  
**市長** 11月末までの発症者は595人、重症化事例1件、今後とも注意喚起を強化継続します。  
**教育長** 不足した授業時間確保については、学校行事の精選、冬季休業期間の短縮等で対応しています。



新型インフルエンザの終息はいつ?

### 経営理念

## 職員に徹底を

市長／総合計画に基づき実施



金行 哲昭 (政友会)

知事も代わり、前知事とは政治手法も違うべきと考えるが。  
市長 広島県に生まれ、育ち、住み働い

てよかったと広島県づくりを目指しておられ、本市としましては、過疎化、高齢化、人口減少に直面し、現状を早く視察していただき、今後の政策に反映していただきたいと考えています。

金行 市の経営理念について、会社も地方自治体も経営計画を明確にし、職員に徹底すべきと考えるが。  
市長 総合計画に基づいて、人輝く協働のまちづくり実現のため、皆様と約束した政策を実施していきます。



経営計画、職員に徹底を

### 環境基本条例

## 委員会開催は

市長／計画的に開催



前川 正昭 (絆)

前川 21年11月26日付で安芸高田市環境基本条例制定委員の募集が広報されたが、委員会はいつから何回開催の予定か。  
市長 条例制定に関

して意見をいただくため委員を募集し、1月に2回、2月に1回の計3回開催を予定しています。

あった。その具体策は。  
市長 安芸高田市担い手育成総合支援協議会の構成団体である支援チームを編成し、18の地域集落に出向いて地域営農の将来像について協議し、来年度3つの集落で法人化する予定です。



環境基本条例制定に向けて



前重 昌敬  
(絆)

学校教育

心の教育の充実は

教育長／学校・家庭・地域・  
専門機関との連携強化

**前重** 適応指導教室「あすなる」の現在の状況、今後の方向性は。  
**教育長** 現在の在籍生徒数は中学生6名で、うち4名が3年生です。10月末現在



適応指導教室「あすなる」(旧丹比西小学校)

の不登校児童生徒は、小学生3名中学生21名で、欠席あるものの登校していません。未然防止の観点から2名の家庭教育支援員を「あすなる」に配置し、指導員も1名常駐する体制を考えています。

**教育長** 小・中学校の暴力行為は減少傾向にあります。ルールを守らず他者に迷惑をかける行為は、毅然とした粘り強い指導で子どもたちの心に寄り添い、生き方を考え、困難を乗り越えるという受容と共感の姿勢で臨むことが大切であることを実践的に指導しています。

**前重** 生徒指導対策充実事業の成果、方向性は。

**児玉** 自主財源増に対する取り組みについて、来年3月の市内の高校の卒業生は約210名、その中で41名が当市に住み就職される。この41

**市長** 大きな目標に対し、当市のエネルギーの問題について抜本的な見直し、また市民への啓発を図り、場合によっては行動計画策定も踏まえながら進めます。

**児玉** 気候変動対策への取り組みについて、現政権が掲げるCO<sub>2</sub> 25%削減に対し、当市としても中長期的な削減のための行動計画を策定すべきと考えるが。



児玉 史則  
(絆)



CO<sub>2</sub>削減対策(クリスタルアージの太陽光発電パネル)

名を更に増やすことが重要であり、そのための施策が必要。  
**市長** 職場確保のため、優良な企業を誘致することは重要です。企業誘致のひとつの社会的魅力に光

ファイバーがあります。これらをしっかりと研究していきます。

成長のための  
戦略的投資

若者定住の促進は

市長／企業誘致の研究

お助けワゴン

試験運用での  
運行状況は

市長／今後の運行に工夫



青原 敏治  
(あきの会)

青原 お助けワゴンが試験運用開始から2ヶ月経過するが、利用状況はどうか。また、市主催の文化活動や福祉活動と連携すれば経費節減につながるのでは。

市長 運用開始後40日で710便運行し、延べ2,035人利用がありました。1日当たり平均50人利用となります。文化スポーツ事業等との連携は、今

後の運行を工夫し検討します。

青原 土曜日の延長保育について、前回質問では検討するとの答弁であった



順調に運行する「お助けワゴン」

が、どのように検討されたのか。

市長 現在、公立保育所の土曜日利用は15%程度ですが、土曜日の延長利用の要望が高いことは認識しています。延長保育については、市の財政面での負担等を勘案し、保育所適正化の中で検討する課題と考えています。

地域農業

新たに「農業振興計画」の策定を

市長／策定を検討



秋田 雅朝  
(政友会)

秋田 地域農業の将来ビジョンの観点から、新たに「農業振興計画」の策定をされています。

市長 北部農協と整合性を図り、地産地消推進計画も考慮し

た見直しと策定を検討したいと考えます。

秋田 年次のな将来計画を持った有害鳥獣対策に取り組んでいます。

市長 防護策、捕獲班等に対応していますが、全体的な体系を考える時期が来ていると思います。現行制度と整合性を保ち検討してまいります。

す。

秋田 森林組合と連携した林業資源の保全、育成を目指す林業振興対策の今後の見解は。

市長 間伐など適切な保育を実施することにより、公益的機能の拡充を図るよう森林組合や森林所有者への支援を考えています。



間伐などによる森林資源の保全を





山本 優  
(絆)

ボランティア

# 活動支援対策は

市長／制度や仕組みづくりを検討



桜守プロジェクトでのボランティア活動(土師ダム湖畔)

**山本** 市民総ヘルパー事業や継続的なボランティア活動に対して活動を支援していくにはいろいろ課題はあると思うが、協働のまちづくりのために体制づくりが必要ではないか。

**市長** 福祉財政は非常に厳しく、ボランティアに頼らなければできないことも多くあり、ポイント制、ボランティア貯金などの制度や仕組みづくりを検討し、できる方向でがんばります。

**入本** 振興会の自立に向けて、位置づけと予算面については。

**市長** 再生可能資源のリサイクルの強化をはじめ、資源回収助成を取扱品目4種類に増やし、環境負荷の軽減に努めます。また、環境推進委員制度は前向きに考えます。



入本 和男  
(あぎの会)

**入本** 環境問題は、個人・事業所等の協力によるゴミの多分類化で資源化し、循環を基調とする経済社会の実現と環境推進員の設置を。

## 環境

### 環境推進委員制度を

市長／大事なので前向きに

解決に向けて力を合わせ、自主的な地域づくり活動を展開する組織と認識をしており、予算措置は地域での自主的な活動に支援します。

**入本** 安芸高田市フォトコンテストは。  
**市長** 実施に向けて協議しています。



振興会設置のイルミネーション(甲田町大道地域)

人事院勧告

職員のボーナスの減額(▲0.15月分)  
463名で▲2,784万6千円  
平成21年12月期より適用

職員給与の減額についても平成22年4月より適用

議員発議

議員報酬(ボーナス)減額(▲0.15月分)  
20名で▲119万円

ノンステップバス5台の購入契約締結

11月30日、第4回臨時会において、市職員等の給与等に関する条例の一部改正、ノンステップバス5台の購入契約の締結、また議員発議による議員の報酬等に関する条例の一部改正について審議しました。

ノンステップバスの購入契約の締結について、質疑が以下のようにありました。

討論はなく、すべて原案のとおり可決しました。

質  
疑

ノンステップバス購入

今村・宍戸

運行委託と来年度以降の取り決めは。  
事故対応は。

竹本政策企画課長

バスを市が購入し、備北交通に貸与し、平成22年10月までは、備北の自主運行となります。

事故対応マニュアルを策定し、指導等していきます。

入本

購入費としての県支出金の確認はできているのか。

竹本政策企画課長

予定通りと確認しています。

児玉

大型バスのコースと利用者数は。

竹本政策企画課長

美土里地区で2台が運行。通学時に下北地域から42名、内山地域から31名の利用がある。

ります。さらに美土里の区地から吉田高校への通学生等38名の利用へも対応します。

水戸

車両選定理由と指名対象業者の数は。

竹本政策企画課長

維持管理において、日野自動車有利であり、その取扱ができるのは市内で3社のみでした。

水戸・和田

5台一括購入の理由は。また、キャラクター、愛称、ポテイベイントなどは。

竹本政策企画課長

一括購入は経費を下げ、納入の時期を少しでも早くするためです。

ポテイベイントなどは、半年間備北交通で運行するので、その後対応します。

芸北広域環境施設組合(きれいセンター)の定例会が、12月25日に北広島町で開催され、20年度の決算額 9億1,988万円を認定しました。

## 成果 収集量17tの実績

20年10月より実施したプラスチック製容器等も資源ごみとしてリサイクルが可能となり、発泡トレイ・洗剤容器・弁当等のプラスチック製品等も資源化され、燃えるごみの減量化にもつながります。20年度の収集量は17tでした。

## 課題 「ざつ紙」を資源化

燃えるごみの中にリサイクル可能な紙ごみもたくさん含まれており、コピー用紙や紙箱、包装紙等も、リサイクル資源の「ざつ紙」として排出をお願いします。

### ●資源ごみ回収で3,340万円収入

**Q** 分別収集で資源化売却代の収入が3,300万円程度あった。住民に対してさらなる分別収集の啓発活動が必要と思うが。

**A** 22年度は組合のホームページを開発し、広報活動に力を入れます。

**Q** きれいセンターへの月1回の日曜日の持ち込みについて、住民が非常に喜んでおられる。ぜひ継続を。

**A** 21年度の実績を見て、今後検討します。

**Q** 塵芥収集車のエコー導入の考えは。

**A** 排ガス規制も厳しくなり、低公害車購入を検討しましたが、現在のところ4t車がありません。



ごみの分別収集を

### 20年度の実績

- ・1人当たりのごみ排出量 ..... 約222kg/年間
- ・1戸当たりのごみ処理コスト ..... 約20,000円/年間
- ・ごみ1袋当たりの処理経費
  - 燃えるごみ ..... 118円
  - 燃えないごみ ..... 399円
  - 粗大ごみ ..... 710円
- ・安芸高田市からの負担額 ..... 3億5,231万5千円
- ・安芸高田市の不法投棄回収量 ..... 約45t

## ごみ分別で助成金を

安芸高田市

ごみ減量化対策助成金交付を、団体(資源ごみの分別運動を実施する子ども会、女性会、PTA、行政区振興会等の住民団体)に、右表に掲げる助成金を交付する制度があります。

詳細は 市民生活課 42-1126 までご連絡ください。

資源物の種類	団体支払単価
新聞雑誌等の古紙	10円/kg
アルミ缶	10円/kg
スチール缶	10円/kg
ペットボトル	10円/kg

特集

## 議会改革の取り組み

### ～一般質問一問一答方式と議会報告会～

市議会では、合併以降 議会改革に取り組んでいます。

19年度に「議会改革特別委員会」を設置し、一定の方向性を示しています。

20年11月の改選以降は、議会改革について議会運営委員会で協議を行いました。

「住民参加型の開かれた議会」を改革理念として協議を行ない「一般質問の一問一答方式」の導入と「議会報告会」の開催について12月18日開催の全員協議会において議会運営委員長が報告を行い、次のとおり決定しました。

- 「一般質問の一問一答方式」については、22年第1回定例会から導入を行う。
- 次年度以降の改革項目については、22年度は「議会報告会」を実施する。

#### 【一問一答方式の利点】

これまでの一括質問方式では、質問者が数項目の質疑事項を一括して質問し、答弁を聞いた後にその答弁に理解できないものがあった場合、再質問を行いますが、質問は3回までと制限があり、質問と答弁がくい違いのまま終了することもありました。

一問一答方式は、質問者が30分の質問時間の中で、案件に対する疑問点をひとつずつ取り上げ、納得いくまで質問、答弁を繰り返す方式で、質問が細部にわたるため、審議を十分深めることが可能となります。また、これまでは再質問(再々質問)を自席で行っていましたが、一問一答方式では質問席で質問を繰り返すため、執行機関とより近くで対面することで、迫力と緊張感のある内容が期待できます。

## 議会を傍聴してみませんか

議会の会議(定例会、臨時会、委員会)は、広く市民のみなさんに公開されています。

まだ議会の会議を傍聴したことがない方もたくさんおられると思います。ぜひ一度、会議を傍聴してみてください。

会議の日程等の広報は、会議開催前に、議会事務局が、有線・無線放送、市役所内掲示板、市のホームページ等でお知らせしています。



12月定例会

12月定例会は、12月9日から12月18日までの10日間を会期として開催しました。

一般会計と特別会計の補正予算12議案と市有住宅管理運営基金条例、土地改良事業計画概要についてなどの5議案、議員発議案3件を審議し、いずれも原案のとおり可決とし、請願1件を採択しました。(委員会に付託された議案審査・請願・陳情等は6～9ページに掲載)

一般質問では、16名が市政を問いました。

(10～17ページに掲載)

一般会計補正予算

討論あり

賛成17 反対2

特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計
  - 後期高齢者医療特別会計
  - 介護保険特別会計
  - 介護サービス特別会計
  - 公共下水道事業特別会計
  - 特定環境保全公共下水道事業特別会計
  - 農業集落排水事業特別会計
  - 浄化槽整備事業特別会計
  - コミュニティ・プラント整備事業特別会計
  - 簡易水道事業特別会計
  - 飲料水供給事業特別会計
- 特別会計については  
討論なし、全員賛成



請願(1件)

● 障害者が安心して地域で暮らすための当面の施策を求める請願

採択

議員発議案(3件)

● 障害者が安心して地域で暮らすための当面の施策を求める意見書について

● 住民のいのちと地域医療・介護、福祉を支える医師・看護師・介護職員等の確保を求める意見書について

● 「非核日本宣言」を求める意見書について

原案のとおり可決

# 地域のかがやき

## 吉田 新春書き初め大会



熱心に筆をはこぶ児童のみなさん(吉田地区振興会)

## 八千代 史跡「阿賀城跡」 登山道を整備



下根地域振興会

## 美土里 鏡開きで新たなる決意



美土里剣道スポーツ少年団

## 高宮 人と人をつなぐ歌声 のんのさま～青春時代 29曲を熱唱



第1回あきたかた市民合唱祭(高宮田圃パラッツォ) 12月13日

## 甲田 寒風を突いて がんばる団員たち



安芸高田市空手道協会寒稽古 1月10日

## 向原 古来「農村神話のウシ・トラ」 川土手に立つ



下としま中央集落会

### 編集後記

世代交代の進むなか、古いものの時代から新しいものの時代へと変わりつつある国の政治経済。古いもののなかには良いものも多くあると思います。

第24号議会だよりから、小学生による安芸高田市吉田歴史民俗資料館主催の絵画コンクール「文化財を描こう」において入賞作品を掲載します。今回の表紙は、市議会議長賞に選ばれた「神楽」の絵です。

古き良きものにいつまでも関心を持ってくれるような安芸高田市の子どもたちが心豊かに成長してくれるよう見守りたいと思います。

議会も住みよい安芸高田市づくりに真剣に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いたします。

暖冬といわれる中ですが、まだ寒さが厳しい時節です。風邪などひかれませぬようご自愛ください。

(大下正幸)

〈発行責任者〉

議長 藤井昌之

〈議会広報特別委員会〉

委員長 穴戸 邦夫

副委員長 山根 温子

委員 前重 昌敬

委員 児玉 史朗

委員 大下 正幸

委員 前川 正昭